

学力の向上に向けて

学力・学習状況の現状

平成22年度全国学力・学習状況調査結果より

今年度は、抽出調査で、市内では、小中学校8校が対象となり、調査を実施し、次のような結果となりました。

小学校では、国語（基礎・活用）、算数（基礎）で、全国平均を上回り、これまでで最も良い結果となりました。算数（活用）の力をつけることが、次年度に向けての課題です。

中学校では、国語（基礎・活用）、数学（基礎・活用）で、全国平均を大きく下回る、厳しい結果となりました。

学習状況調査では、依然として、家庭学習時間の不足などに課題があり、今後、家庭にも協力を求めながら取り組みを充実させる必要があります。

また、読書が好きな児童生徒の割合が高いなど、学

力と関係が深い部分で、本市の児童生徒の良い面もみられます。今後は、そこを

さらに伸ばす工夫も大切に

表1) 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりの勉強時間が30分より少ない児童生徒の割合(単位%)
全国学力・学習状況調査結果より 小6・中3対象

	香美市小学校	全国小学校	香美市中学校	全国中学校
H22	11.9	16.3	24.6	16.9
H21	9.7	17.1	26.4	17.7
H20	13.9	16.3	25.6	17.9
H19	21.3	17.6	23.7	18.6

※平成21年度までは、全校を対象に、平成22年度は学校単位の抽出調査。香美市は13校中8校が対象。

表2) 「読書が好き」「どちらかと言えば好き」と回答した児童生徒の割合(単位%)
全国学力・学習状況調査結果より 小6・中3対象

	香美市小学校	全国小学校	香美市中学校	全国中学校
H22	78.7	73.0	69.7	68.8
H21	75.8	71.8	74.0	67.4
H20	71.3	72.3	73.8	69.0
H19	63.8	71.3	72.9	67.9

※平成21年度までは、全校を対象に、平成22年度は学校単位の抽出調査。香美市は13校中8校が対象。

平成19年度に実施された全国学力・学習状況調査の結果を受けて、学力向上対策に取り組んで4年目を迎えます。今回は、香美市の子どもの学力・学習状況の現状と、今後の取り組みについて報告をします。

平成22年度標準学力調査結果より

児童生徒が昨年度学習した内容をどれだけ理解しているかを把握するために、本年度、4月下旬～5月上旬にかけて市内全小中学校で標準学力調査を実施しました。実施教科および結果は、次のページの表3のとおりです。

小2～中1にかけては、全国水準がそれ以上であるのに対し、中2～中3にかけて学力の低下が見られます。

授業改善

香美市の授業スタイルは、学力向上の核となるのは、毎日の授業です。まもなく実施される新学習指導要領（小学校は平成23年度、中学校は平成24年度から実施）では、新しい学力（思考力・判断力・表現力）を育成することが求められています。教師が説明

をし、子どもたちがそれを聞くだけの授業では、その力は育ちません。子どもたちが自ら考え、その考えをもとに意見を交流し、自らの力で学習のまとめができるようにしていきたいと考えています。そのためにも、どの教科においても、1時間の授業の中で確実に、子どもたちが自分の考えを書いたり表現したりする時間を確保することが必要になります。そこで、昨年度より香美市授業研究会を開催し、お互いの授業を見合う中で、改善を図るようになりました。7月には、片地小学校・山田小学校で研究会を開催し、2日間で約100名の教職員に参加していただきました。



算数日記

今日の勉強でほくは、見ためじゃわからないことに気づきました。同じりよつなのになんで・・・。同じりよつに見えないけれど、本当は同じりよつで、すごいなあと思いました。

大きなや高さは、どつちが多いかなと思つけれど、本当は、ぜんぶ同じで、ふしぎだなあと思いました。水もジューズもぜんぶりよ

つは同じということがわかつてよかつたです。だまされてお金をとられたら、いやだなあと思いました。ふくろは、だまされやすいなあと思いました。

授業では、課題に対して、自分の考えをしっかりと持ち、発言する子どもたちの姿が見られました。また、研究協議では、子どもたちの思考を深めるための教師の支援の在り方について、多くの意見が出されました。

家庭学習の充実

学力向上のためには、家庭での学習習慣の確立も必要になります。

そこで、各学校では、PTAと協力し、学年に応じた家庭学習の時間と質の充実に向けた取り組みを始めました。具体的には、家庭学習のびきを配付し、子どもたちが、それを活用しながら学習に取り組むことで、学習の仕方を身につけることができます。漢字練習や計算練習などの反復だけでなく、次の授業の予習につながる宿題の与え方の工夫も行っています。

中学生は、部活動などの疲れから、家庭学習時間の確保が難しくなります。ご家庭においても、関心をもちたいいただき、学習習慣確立のためにご協力をお願いします。



▲山田小3年 算数科『水のかさのはかり方と表し方』の授業

表3) 平成22年度 標準学力調査 正答率(単位%)

教科	区分	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
国語	市内	84.2	77.1	68.5	71.4	72.0	76.0	66.0	60.5
	全国	83.9	75.4	69.4	70.0	68.9	73.4	70.5	66.3
算数数学	市内	88.5	79.5	73.8	74.5	76.9	75.4	50.7	48.6
	全国	89.0	79.3	74.2	74.7	74.0	73.8	60.6	60.0

教科	区分	中学1年	中学2年	中学3年
理科	市内	67.7	45.0	46.5
	全国	70.0	55.0	59.8
社会	市内	65.5	59.3	55.6
	全国	65.6	62.8	62.1
英語	市内	—	60.4	52.4
	全国	—	70.6	60.9



◀『家庭学習の手引き』大栃中学校